

## 【JICA筑波】感想一覧

1	JICAの青年海外協力隊に実際に派遣された方の体験談や、大切にしている事、価値観を聞いたことで、今明確に将来の夢が決まっていないう自分を受け入れ、それでもいいのだと知って、将来のやりたい目標について考えることができました。また、協力隊で派遣される際の言語研修などの制度を知り、自分も協力隊への参加に興味をわきました。図書館ではなかなか見ることのできない南米などの地域の絵本を目にすることができワクワクしました。また実際に海外から派遣されて研修員の方の子どもを目にし、JICAの活動を身近に感じました。民族衣装を体験するコーナーでは多くの国の民族衣装を目にし、触れて着ることができ、国ごとの文化の美しさに触れ、今まであまり興味を持って来なかった色々な国のことを知りたいと思いました。 また、JICAのパンフレットなどをもらったので読むのが楽しみです。
2	JICAはそんなところなんだ！と驚きがありませんでした。広場には外国の方もたくさんいてこうやって共存できる環境はとていいなと感じました。民族衣装を試着できたのがとても楽しかったです。
3	JICA海外協力隊という存在を知り、私にもできるかもしれないという気持ちになった。日本も昔、世界に助けられていたという事実は知らなかった。世界のために働く機関の仕組みを知れてよかった。
4	JICA筑波では、国際協力や海外協力隊などについて講師の方からお話を聞き沢山のことを学ぶことができました。今までも日本の国際協力について少し知ってはいたが、関心はあまり持っていなかった。けれど、事前調べやこの参加を通して、日本の技術を発展途上国に伝えることや、支援をするということが最終的には自分たちや地球全体に関連するという点に興味を持ち、海外協力隊に挑戦してみたいということも、自分の将来の選択肢にあるということを感じることができた。これからは、JICAの情報をこまめに取り入れながら、勉強を続け自分が将来何をしたいのかを考えていきたい。
5	もともと興味があって、大学卒業後は、一定期間研修してみたいと思っていたのですが、親の反対もあり、諦めかけてました。ですが、今日、実際の体験談などを聞いて、自分自身もJICAで研修をしてみたいと改めて強く思うことが出来ました！
6	やる気さえあれば、発展途上国の人々を助けられる環境に自分たちがいることが分かった。
7	海外協力隊に実際に参加されていた人のお話を聞いて進路の選択肢が増えました。海外に行って活動することはとても大変だと思うけどとてもやりがいがあるのがすごく伝わってきてすごく興味が湧きました。
8	海外派遣はさまざまな種類があって、サッカーや水泳などでも海外に行けることがわかりました。民族衣装やSDGs、海外の絵本を集めた図書館が面白かったです。
9	開発協力のイメージが変わった
10	元々国際協力に関して興味があったので、実際に海外青年協力隊としてアフガニスタンに滞在していた岡崎さんの貴重なお話を聞く事ができ、とても充実した時間でした。進路についてまだ悩んでいる状態であるので、岡崎さんのアドバイスをいかして自分の進みたい進路の漠然としたテーマを決めるところから始めてみたいと思います。特別な資格がなくても海外支援が出来ると分かり、更に海外支援に対しての興味が深まりました。
11	元々国際協力に興味があったのでとても有意義な時間だった。特に実際に海外派遣に行った方の話はとても興味深く知らなかったことを知るといいきっかけとなった。図書館の様々な国の絵本や本、伝統的な衣装を着て、今海外に行くことは難しいが、今回世界の国々を身近に感じることができた。海外派遣のことをもっと知りたいと思った。
12	国際協力についての興味が元々あり、体験談などを聞いたことはとても自分のためになったと思います。
13	国際協力はどの国にも必要不可欠なものだと感じました。また、たくさんの民族衣装の見学は、普段なかなかできないもので、試着もすることが出来たので貴重な機会だと思いました。
14	国際協力や青年海外協力隊について知れて、自分でも目指せる！と身近に感じることができた。
15	国際協力機構が何をしているか、漠然としか知らなかったが、今回の活動を通じて、どんな国で何を目的として活動しているかが理解できた。また、海外の国と日本が協力する意義も理解できた気がする。
16	国際的な活動についてより興味を持つことができたのでよかった。進路を考えるときはぼんやり考えておいたほうがよいという話を聞き、自分もそうしようと思った。
17	国際的な活動の参加の内容など詳しく知ることが出来た
18	今回のこの体験で将来のことについての視野が多角的に広がった気がします。もっと多くのことについて知って、専門的な知識から自発的に行動できる人になりたいです。
19	今回は、農業研修について具体的に学べたのでよかった。また、国際的な活動を身近で行なっていて、私も取り組んでみたいと思いました。
20	自分自身が元々興味のある国際協力についての体験談や新たな知識を聞いたことは進路を考えていく上で活用したいと思いました。
21	実際の海外協力隊の体験を伺うことができ、大学の更に先の進路を広げることができた。自分は何をしたいのか、どんな世界を築き上げていきたいのかを思い描いて、進路決定に繋げたいと思った。
22	将来、海外協力隊として外国に行ってみようと思った。世界の貧困などの問題も改めて知れた。すごく良い経験になった。
23	世界の事情とそれに向き合っている場所で、実際に多国籍の人が集まっているのを見て、改めて「国際化」というもののイメージが湧いた。
24	世界中の民族衣装を知ることが出来て良かった。
25	中学1年生のときの担任が青年海外協力隊で活動していた経験がある人で、そのときから興味があったものについて詳しく知ることができたのでよかった。今まではぼんやりとした知識しかなく、興味を持つだけに留まっていたが、満20歳～満69歳までが募集条件に当てはまると知り、自分も活動してみたいという意欲が湧いてきた。自分の進路やキャリアについて考え直すきっかけにもなったので身になる研修だったと思う。
26	中学で学んだことが多かった。青年海外協力隊の具体的な実績を知りたかった。
27	日本は先進国であって開発途上国を支援してあげているという上からのイメージが若干あったが、実際はそういう国々に支えてもらって日本は発展できていて、だからこそ日本が支援をするのは当たり前であってそういう国々を置き去りにしてはいけないことだと感じた。
28	発展途上国と呼ばれる国が全体の約8割を占めていることにとっても驚いた。国際協力の手段はたくさんあって、自分もやってみようと思っ少し興味を持った。
29	発展途上国へ支援をする意味や支援をする上で大切なことを学ぶことができた。今後の国際化の中でこのトピックは重要になるので自分でも調べていきたいと思う。
30	本当に充実した時間だった。その前の日まで、JICAの存在すら知らなかったのに、組織のことや活動内容を伺って、自分も海外協力隊になりたいと思った。特に、実際に派遣された方のお話は、興味深かった。図書室の説明や公演も忙しかったので、ここにもっと時間をとってほしいと思った。
31	役割は、国づくり、ということで、技術協力、無償金協力、有償金協力などがあつた。開発途上国における社会課題の解決について、学ぶことができた。日本を代表して、国際協力を行っていたりと、とてもかっこいいと思った。初めは、代表的なのではなく、多くの人に参加できる取り組みなのではないかと思っていたが、説明を受けたことで、教育面でも、外国人を集めることにより、日本を代表してJICAが行なっていたと、知ることができた。一見、日本は外国を助けるだけなのでは、と考えることがあつたが、それはとんだ誤解であり、数億円ほどの資金を、外国から日本は受けていたことを知り、とても驚いた。なので、日本だけでなく、世界的にも大切な役割をしていると、改めて思うことができた。
32	綺麗な施設で、素敵な図書館があり、もっとゆっくり本を見たいと思った。実際、海外から来た方がたくさんいて、ここで宿泊して研修を行なっていることに実感を持った。

